

沖縄にルーツを持つ日系二世の内間安理(1921–2000)は、第二次世界大戦後、恩地孝四郎や棟方志功に感化され版画の道に進みます。1970年代後半、浮世絵版画の技法にもとづく「色面織り」の技法を確立し、色鮮やかな〈Forest Byobu 森の屏風〉シリーズにより評価を高めました。妻・俊子(1918–2000、旧姓・青原)は、瑛九らによる前衛グループ「デモクラート美術家協会」に参加し、1959年にアメリカに渡ってからは詩情を湛えたコラージュやアッサンブラージュを制作しました。

本展は、版画やコラージュ作品を軸とし、二人の独自性のある豊かな創作世界を振り返るものです。内間俊子については初期から晩年までの軌跡を辿る初めての機会となります。戦後の激動の時代において、創作



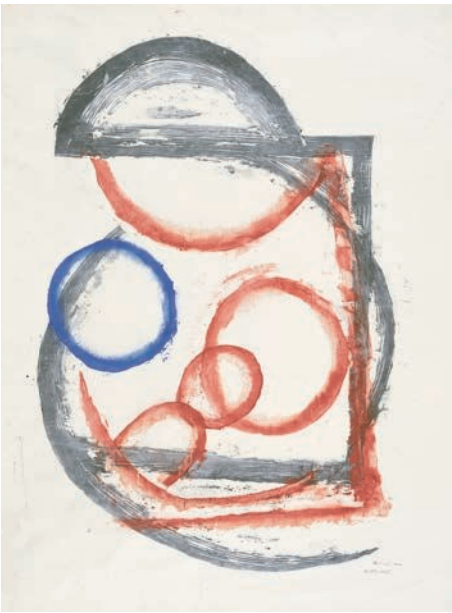
だけでなく、日米のアーティストや文化人のネットワーク形成に尽力した両者の功績を再評価するとともに、イサム・ノグチや猪熊弦一郎、吉田千鶴子など関連作家の作品を、内間家の旧蔵作品を中心に紹介し、戦後美術の新たな一面に光をあてます。

内間安理・俊子とイサム・ノグチ〈こけし〉 当館(旧鎌倉館)にて、1956年8月

内間安理・俊子展 色を織り、記憶を紡ぐ

Ansei and Toshiko Uchima: Weaving Colors and Memories

- 1—恩地孝四郎《母性》1946年 多色木版、紙 神奈川県立近代美術館蔵 2—瑛九《無題》1954年 水彩、クレヨン、インク、紙 個人蔵
3—イサム・ノグチ《鳥》1952年 陶 個人蔵 ©2026 The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum/ARS, NY/JASPAR, Tokyo E6246
4—吉田千鶴子《マンボA》1956年 多色木版、マルチブロック、紙 個人蔵



【関連企画】

①担当学芸員によるギャラリートーク

3月14日(土)、4月11日(土) 各日14:00–14:30

②ワークショップ「色を織る」

3月31日(火)、4月5日(日) 各日10:00–15:00

場所:葉山館エントランス

※申込不要、時間内は参加自由

③トークイベント「内間安理・俊子について」

ゲスト:内間安樹氏・洋子氏(作家ご子息夫妻)

5月16日(土) 15:00–16:00

※②③の詳細は2月下旬に美術館ウェブサイトでお知らせします。

【同時開催】

葉山館 展示室4

コレクション展「たいせつなものⅡ—近年収蔵の彫刻・立体作品から—」 「福田尚代 あわいのほitori」

3月7日(土)–5月31日(日)

鎌倉別館 Tel.0467-22-5000

2月21日(土)–5月17日(日)

アクセス

公共交通:JR横須賀線「逗子」駅南(東口3番のりば)

または京浜急行バス「逗子・葉山」駅南(南口2番のりば)

から京浜急行バス「逗11」または「逗12」系統(海岸

回り・葉山行)で「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」

下車(所要約20分)

車:横浜横須賀道路「逗子IC」または「横須賀IC」から

7–8km

葉山館駐車場(有料)のご案内

営業時間:8:30–18:00(入庫は16:30まで)

駐車料金(1時間/追加は30分毎に加算):普通車400円、大型車1,200円

※本展観覧券をお持ちの方は1時間無料です。

※レストランやショップで2,000円以上ご利用いただいた方は1時間無料

(併用で最大2時間)となります。

※貸切バス等(定員11名以上の車)でご来館の場合、駐車場の事前予

約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

2208-1 Isshiki, Hayama, Kanagawa 240-0111

Tel.046-875-2800 Fax.046-875-2968 www.moma.pref.kanagawa.jp

〒240-0111
神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

Ansei and Toshiko Uchima: Weaving Colors and Memories

内間安理・俊子展 色を織り、記憶を紡ぐ

東京からニューヨーク、版画とコラージュによる50年
Fifty Years with Woodblock and Collage, from Tokyo to New York

2026. 3.7 Sat. — 5.31 Sun. ※一部展示替え

開館時間:9:30–17:00(入館は16:30まで) 休館日:月曜日(5月4日を除く)

観覧料:一般1,200(1,100)円/20歳未満・学生1,050(950)円/

65歳以上600円/高校生100円*()内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下の方と障害者手帳等、ミライロIDをご提示の方(および介助者原則1名)は無料です。

※ファミリー・コミュニケーションの日:毎月第1日曜日(4月5日、5月3日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は

割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。

※その他の各種割引はお問い合わせください。※最新情報は美術館ウェブサイトもしくは電話でご確認ください。

主催:神奈川県立近代美術館、東京新聞

[Hours] 9:30–17:00 (Last admission at 16:30)

[Closed] Mondays (except May 4)

[Admission] Adults: 1,200 yen / Under 20 and Students: 1,050 yen / 65 and over: 600 yen /

High School Students: 100 yen / Junior High School Students and under 16: Free

*Please check our website for the latest information.

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

2208-1 Isshiki, Hayama, Kanagawa 240-0111

Tel.046-875-2800 Fax.046-875-2968

www.moma.pref.kanagawa.jp



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

神奈川県立近代美術館

内間安理 Ansei Uchima

〈Forest Byobu (Autumn-Stone) |

森の屏風(秋・石庭)〉(部分)

1979年 多色木版、紙 個人蔵

内間俊子 Toshiko Uchima

〈Downtown〉(部分)

1982年 ミクストメディア

高知県立美術館蔵





内間俊子 Toshiko Uchima (1918–2000)

1918年、父の赴任先の中国安東県（現・遼寧省）に生まれ、大連で育つ。1935年、神戸に移る。1953年、「デモクラート美術家協会」に参加し、油彩画や木版画を発表。1956年、吉田千鶴子らと女流版画会を結成。1959年にアメリカに渡り、1960年代後半からはコラージュやアッサンブラージュの制作に転じた。

- I. デモクラート美術家協会の時代 [1953–1956]
- II. 木版画の時代 [1956–1968]
- III. 記憶を紡ぐ——コラージュとアッサンブラージュ [1968–2000]



内間安瑛 Ansei Uchima (1921–2000)

1921年、カリフォルニアに生まれ、1940年に来日。早稲田大学で建築を学び、熊岡洋画研究所で絵画を学ぶ。1954年、版画コレクターのオリヴァー・スタットラーの通訳として恩地孝四郎や棟方志功の知遇を得る。同年、青原俊子と結婚。1955年、養清堂画廊で初個展。1959年、帰米。ニューヨークを拠点に〈Space〉、〈Forest Byobu〉シリーズなどを発表。1982年、脳卒中で倒れ、以後、制作ができなくなる。

- 1—〈風のワルツ〉1957年 多色木版、紙 個人蔵
- 2—〈Flow and Grass〔流れと草〕〉1961年 多色木版、紙 個人蔵
- 3—〈Forest Byobu (Autumn-Stone)〔森の屏風（秋・石庭）〕〉1980年 多色木版、紙 個人蔵
- 4—〈Self-Portrait〉1982年 エッチング、紙 個人蔵
- 5—〈In Blue (DAI)〉1975年 多色木版、紙 個人蔵
- 6—〈Space Landscape (B)〉1971年 多色木版、紙 個人蔵



- 1—〈オルゴール〉1955年 油彩、カンヴァス／和歌山県立近代美術館蔵
- 2—〈His Baren〉1989年 ミクストメディア／個人蔵
- 3—〈Cotton Ginのころ〉1986年 ミクストメディア／ストライプハウスギャラリー蔵
- 4—〈幻想風景〉1993年 ミクストメディア／高知県立美術館蔵
- 5—〈彼女の名はデイズ〉1985年 コラージュ、パステル、紙／個人蔵
- 6—〈幻想曲〉1957年 多色木版、紙／個人蔵
- 7—〈1907のポストカード〉1982年 コラージュ、パステル、紙／個人蔵

